

会員拡大交流委員会計画

委員長 仲山 一也
副委員長 大塚 忍
副委員長 小谷 茂
運営幹事 平田 裕子
会計幹事 鈴木 俊晃

【基本方針】

我々上越J Cは今、会員拡大の厳しさと、そこに起因する会員の減少という問題に直面しています。この問題はL O Mの存続に関わる大変深刻な問題です。また、在籍年数の短期化や会員相互が交流を図る事業の減少から、会員同士の交流が希薄になっているようにも感じられます。志を同じくする新しい仲間を求め、メンバー全員が会員拡大という同じ目標に向かって意識を高めていくこと、また、会員同士が相互に交流を深め、ともに高め合って成長していくことが必要です。

当委員会では会員同士がお互いを思いやる「たすけあい運動」を展開しながら、「会員拡大の推進」と「会員間の交流の推進」を行います。初めに「会員拡大の推進」については30名の新入会員の確保を必達とします。そのためには、役員並びに各委員会に担当メンバーを配置し、当委員会から率先して「たすけあい運動」を行うことで、情報の相互提供ができる強固な協力体制を築きあげます。またその情報を一元化して全メンバーが共有できる体制を構築し、メンバー全員に会員拡大に関わることの重要性を感じて頂きながら、効率的かつ迅速な勧誘活動に繋げ、更には新入会員候補者の入会意思が高まるよう、J C運動の素晴らしさを発信します。次に「会員間の交流の推進」については、例会設営の中で、会員相互の意見交換・友情の育成・会員意識の高揚を目指します。まず理事長のご挨拶をより多くのメンバーに聞いて頂くために、各委員会などの連絡網とは別に当委員会独自の連絡システムを作り、積極的にメンバーの参加を促します。また各委員会・出向者の報告などをプログラムに組み込むことで多くのメンバーが発表する機会を創出し、よりメンバー同士の横の繋がりを強化させ、例会と共に各事業への参加率向上に繋げてまいります。

「たすけあい運動」から、相互を信頼し助け合う心を育み、結果として共に大きく成長する「自他共栄」の志を持つことで、自分自身の成長や仲間との友情を今以上に構築することが出来ると確信しています。会員同士の横軸連携の構築を礎とし、上越J Cがより魅力的な団体へと成長することに繋がります。

委員会職務分掌＜事業内容＞

1. 会員拡大の推進
2. 1・12月担当例会の開催
3. 例会セレモニーの設営・開催

4. 第6エリア交流会の開催

5. 沙鹿J Cとの交流事業